

(4) 南部地域

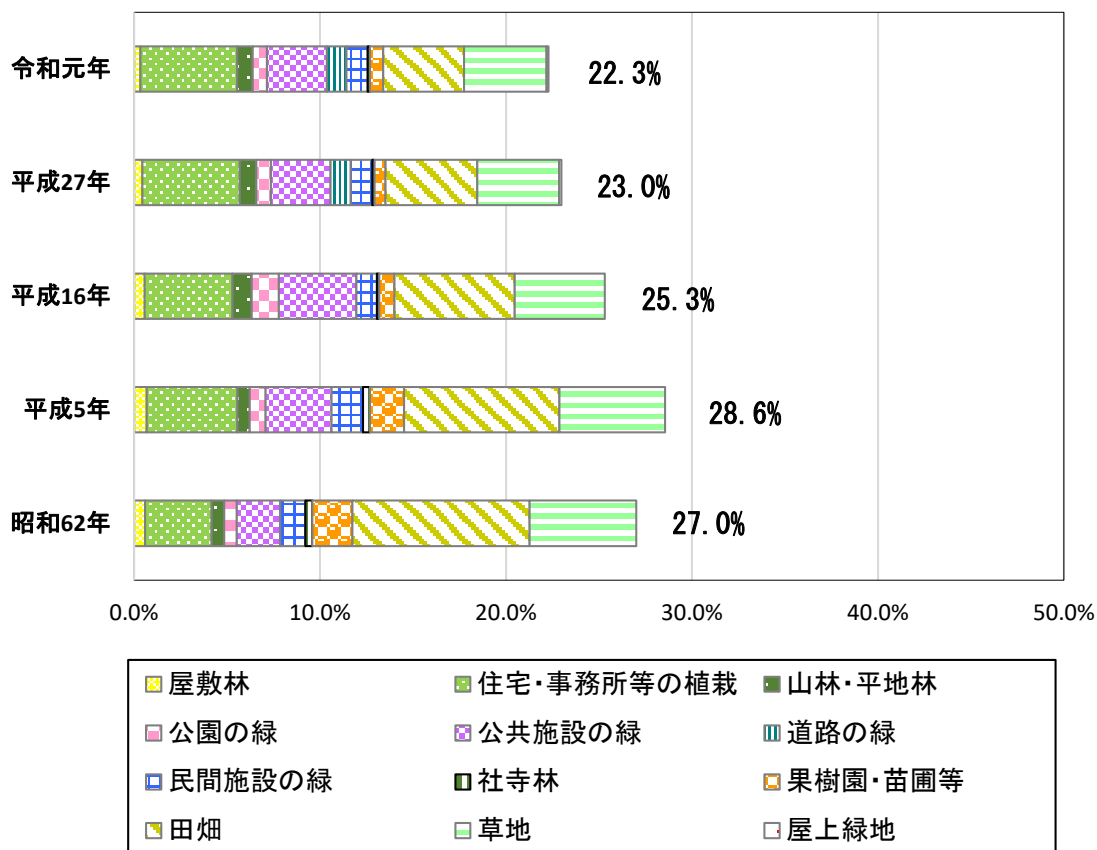
< 現状 >

地域全体での緑被率は 22.3% で 4 地域のなかで最も低く、「住宅・事務所等の植栽」「公共施設の緑」「田畑」等の構成比が他地域と比べて高いのが特徴です。長期的にみて「住宅・事務所等の植栽」は年々増加していますが、「果樹園・苗圃等」「田畑」は減少傾向にあります。

地域内では、布田崖線、府中用水が地域内を通り、南端部には雄大な河川景観を形成する多摩川があり、緑の骨格を形成しています。その他、特徴的な緑として、甲州街道沿いに連続した街路樹が並ぶほか、布田、染地、国領、八雲台には農地が比較的まとまっています。下布田遺跡や布多天神社、国領神社、大正寺などの文化資源には社寺林もあります。

平成 24 年 8 月に京王線の柴崎駅～西調布駅間の約 2.8km の区間と、調布駅～京王多摩川駅間の約 0.9km の区間が地下化され、道路交通の円滑化や歩行者、自転車の安全性の向上、鉄道により分断されていた市街地の南北一体化など、様々な面で都市構造が大きな変貌を遂げました。

緑被率の経年変化



出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）

< 課題 >

- ・南部地域において構成比が比較的高い「住宅・事務所等の植栽」等の私有地の緑のコントロールや「田畑」をはじめとした農地の保全が課題となります。
- ・京王線の地下化により生じた空間は市の玄関口として多くの人々が利用する場所であり、緑のネットワーク形成が重要となります。
- ・国領町5丁目付近では公園不足地域があり、公園の拡充が必要です。
- ・市民意向では、河川の緑に対する印象が強い一方で、公園・緑地の量や親しみのある緑に関する満足度が低く、より親しみやすい公園・緑地を目指して緑の量と質を向上していくことが求められています。

< 方針 >

**市の中心地としてうるおいと活力にあふれ、
やすらぎとつながりを感じる緑の環境づくり**

商業・業務や生活機能が整った市の中心市街地として、面的なまちづくりを進めながら、親しみのある緑の空間形成を図ります。また、多摩川や野川といった水辺や街道沿いの連続的な空間を活かし、緑のネットワークを形成します。

< 地域の将来像 >

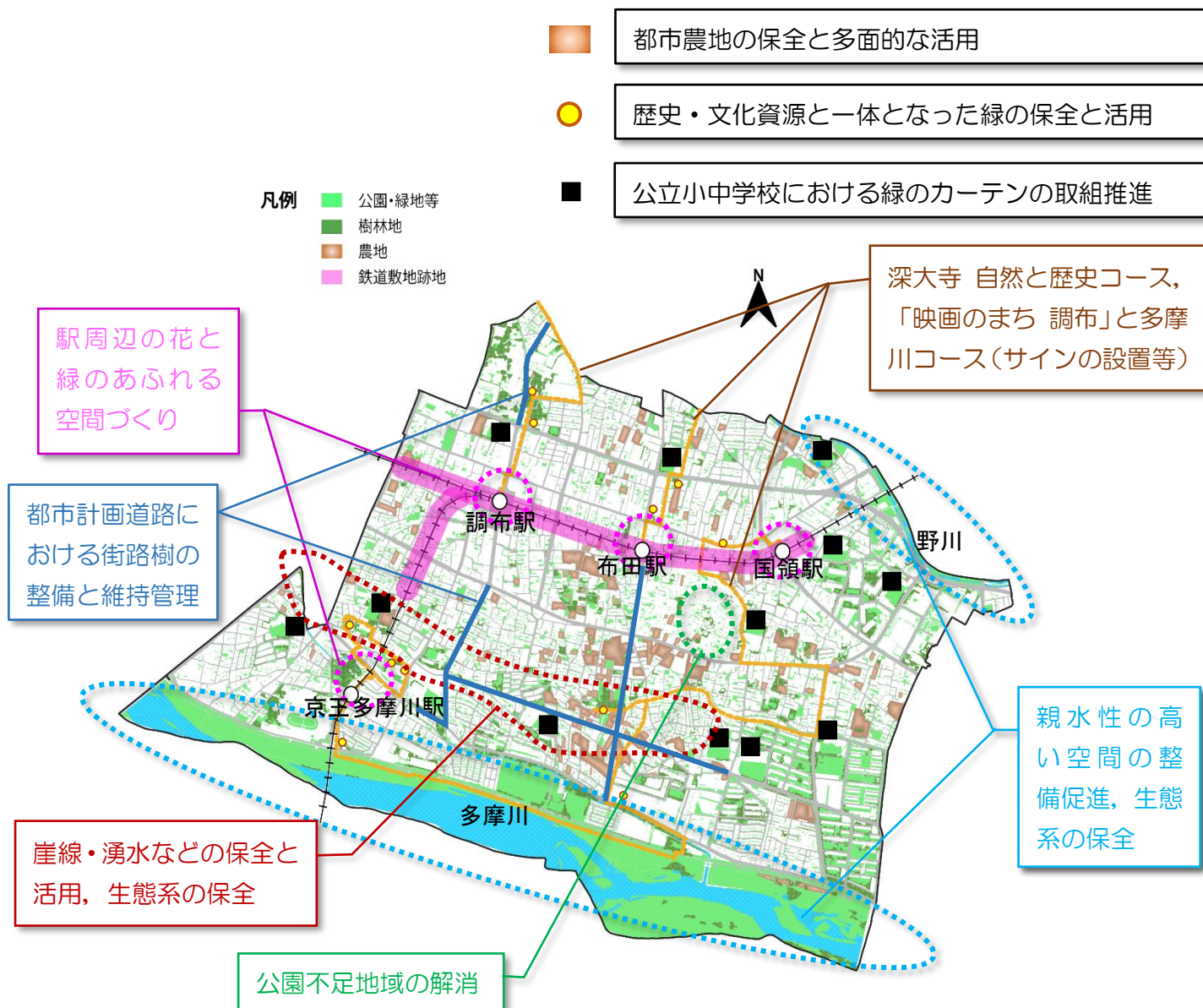
- | | | | |
|----|--|--|--|
| 凡例 |  公園・緑地等 |  シンボルとなる緑 |  ふれあいの小径 ^{こみち} |
| |  樹林地 |  農の里 |  崖線の軸 |
| |  農地 |  花と緑の拠点 |  水の軸 |
| |  鉄道敷地跡地 |  歴史文化資源 | |



< 施策 >

施策名	概要	全体計画との対応
国領町5丁目付近の公園不足地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> 公園に対する市民満足度が低いため、国領町5丁目付近の公園不足地域への、公園の配置・整備を検討しながら、魅力のある公園の創出に向けた検討を推進します。 	1-(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進 4-(1) 公共施設の緑化の推進
国分寺崖線・布田崖線の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 布田崖線、国分寺崖線等、武蔵野の原風景を伝え、多様な生物の棲み処となる貴重な自然を保全します。 	3-(2) 崖線・樹林地・湧水などの保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
下布田遺跡等と調和した緑の形成	<ul style="list-style-type: none"> 下布田遺跡等、歴史・文化的資源と一体となった緑の保全と活用を推進します。 	3-(3) 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
多摩川・野川を活かした水のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川や野川については、市民と協働で良質な河川環境の保全と活用を図りながら、生態系ネットワークの形成を推進します。 	3-(4) 川辺の保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
染地・布田地区農の里を中心とした都市農地の保全と振興	<ul style="list-style-type: none"> 染地や布田地域で比較的みられる、都市景観と一体となった都市農地を保全し、農地の多面的機能を活かしながら農の里の実現を目指します。 	3-(5) 都市農地の保全と多面的な活用
地域をめぐり、地域の景観を向上させる緑のネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> 甲州街道や品川通りにおいては街路樹・植栽の維持管理を適切に行い、今後整備する都市計画道路においては整備を推進します。 調布駅－布田駅 や 布田駅－多摩川－京王多摩川駅を結ぶ、ふれあいの小径については緑化を推進し、歩きたくなる空間創出を推進します。 小中学校等においては緑のカーテンの取組を推進します。 調布・布田・国領駅の駅前広場と各駅をつなぐ鉄道敷地の連続した空間を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある空間として整備を進めます。 	4-(1) 公共施設の緑化の推進 5-(1) 水と緑のネットワーク形成
調布駅・布田駅・国領駅・京王多摩川駅周辺の緑のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 調布駅・布田駅・国領駅・京王多摩川駅周辺の花と緑のあふれる空間づくりを推進します。 	5-(1) 水と緑のネットワーク形成 6-(2) 水と緑をそだてる意識づくり

< 施策位置図 >



【全域で取組む施策】

- 1-(2) 市民参加による公園整備・管理の推進
- 2-(1) 公園・緑地等の計画的な管理
- 2-(2) 防災性を高める身近な緑の保全
- 2-(3) 公園・緑地の利用の適正化
- 3-(1) 私有地の緑化推進
- 4-(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成
- 4-(3) 身近な樹木・植栽の保全
- 5-(3) 緑資源を活かした循環型社会の形成
- 6-(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進

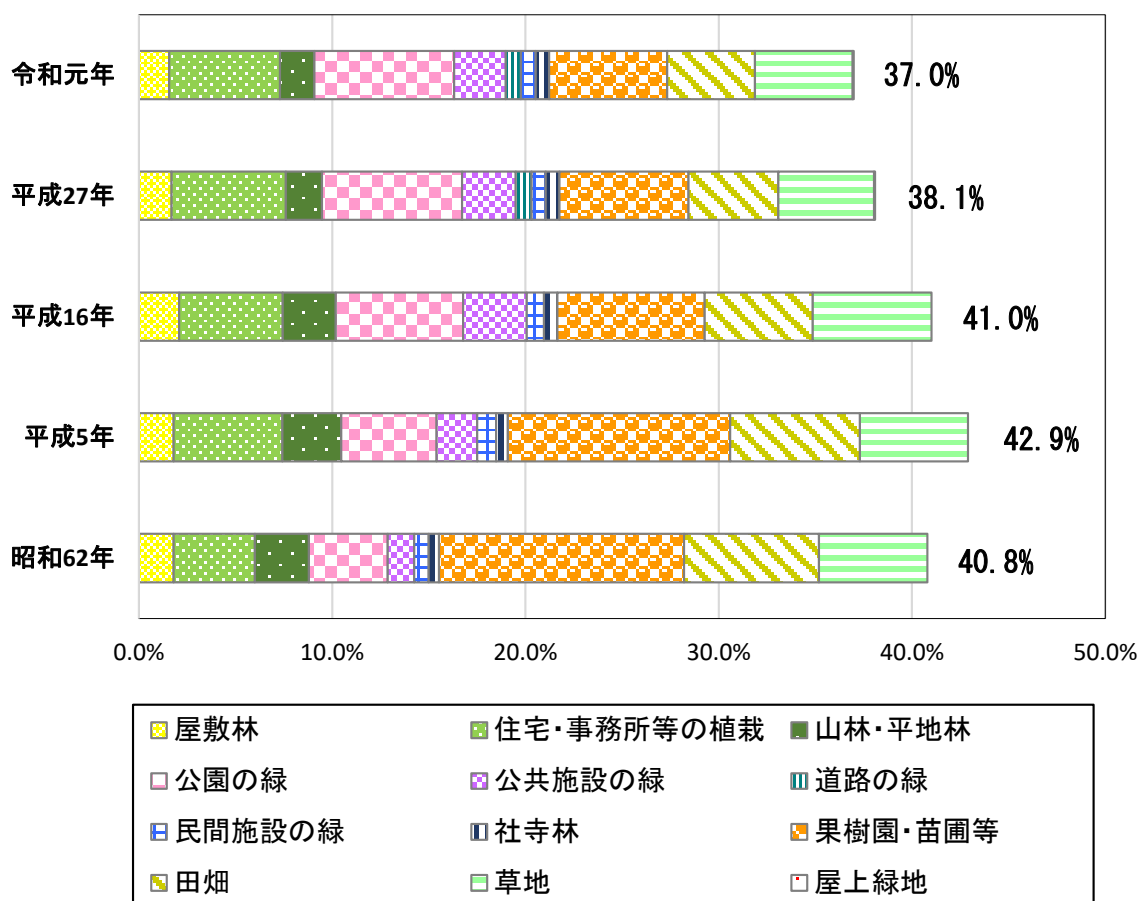
(5) 北部地域

< 現状 >

地域全体での緑被率は37.0%と4地区の中で最も高く、「屋敷林」「公園の緑」「果樹園・苗圃等」等の構成比が他地域と比べて高いのが特徴です。「公園の緑」は長期的に増加傾向にありますが、「山林・平地林」や構成比の高い「果樹園・苗圃等」「田畑」は減少傾向にあります。

地域内では、国分寺崖線と野川が地域内を通り、緑の骨格を形成するとともに散策路などが整備されているため、市民の憩いの場となっています。崖線の中には神代植物園や深大寺自然広場があるほか、崖線の上と下にはそれぞれ農地が比較的まとまっていて、湧水の涵養域となっており、水田も残っています。また、深大寺、虎狛神社、祇園寺等には社寺林もあります。

緑被率の経年変化



出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）

< 課題 >


- ・北部地域の緑として主要な部分を占める「山林・平地林」「果樹園・苗圃等」「田畑」は相互に関連しているため、一体となって保全をしていく必要があります。また、これらの緑の資源は地域のみならず市全体にとっても象徴的で重要な緑であるため、長期的・広域的な視点で保全・活用を図る必要があります。
- ・市民意向では、他地域よりも緑に対する満足度が高く、とくに崖線とその周辺の緑に対する印象が強いですが、街並みの景色に関する満足度は低く、自然と調和した住宅街の緑環境の保全・創出が求められています。

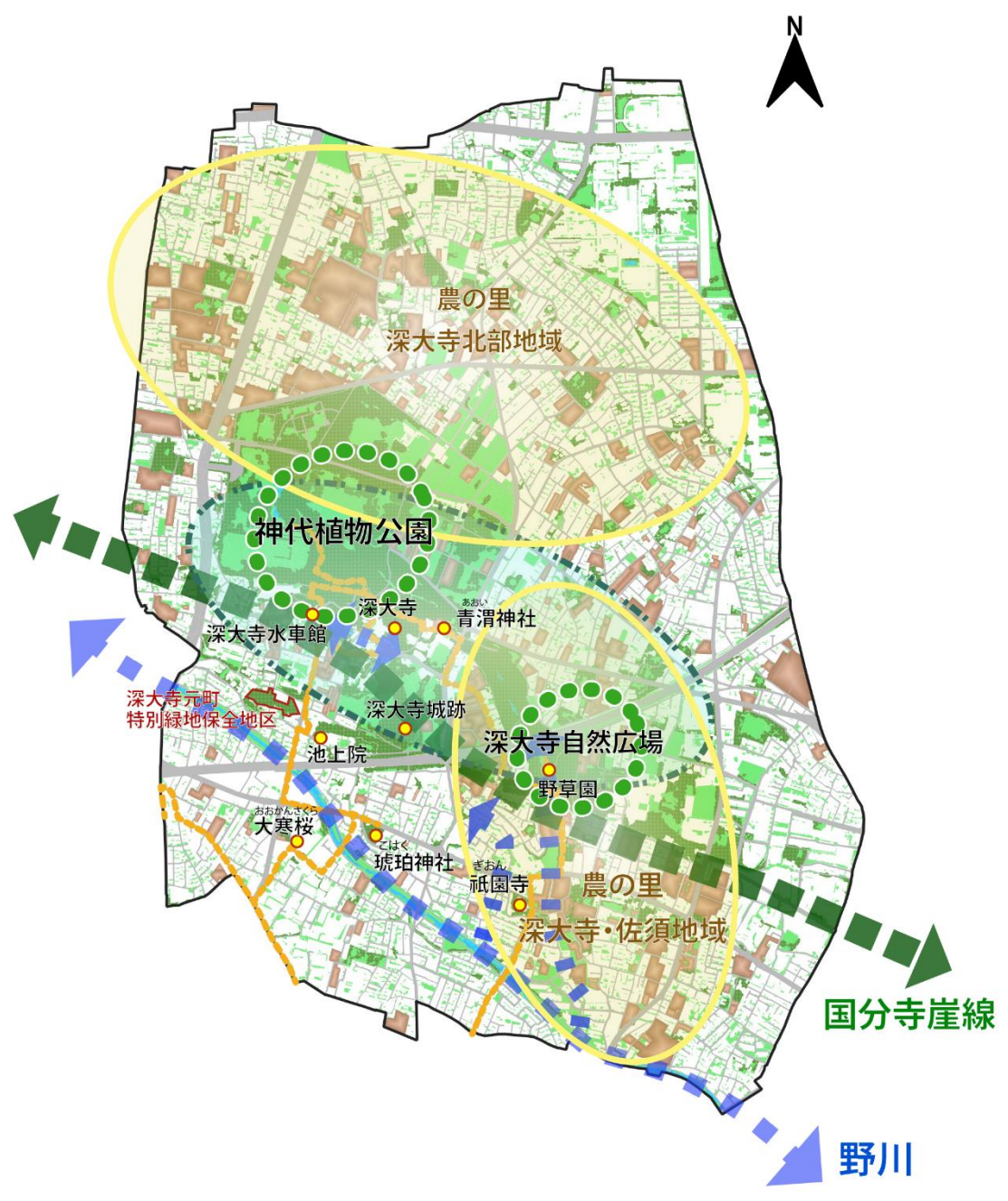
< 方針 >

崖線・里山・湧水・農の風景等，ほっとする緑の保全と環境づくり

神代植物公園，深大寺自然広場等は崖線や周辺の農地と一体となって，広域的に多様で豊かな緑空間を形成しています。野川と国分寺崖線の自然軸と合わせ，本市の特徴的な緑が集約された，市内外の人々にとって憩いのある緑のまちづくりを推進します。

< 地域の将来像 >

- | | | | |
|----|--|--|---|
| 凡例 | ■ 公園・緑地等 |  調布の森 |  ふれあいの小径 ^{こみち} |
| | ■ 樹林地 |  シンボルとなる緑 |  崖線の軸 |
| | ■ 農地 |  農の里 ^{みのり} |  水の軸 |
| | |  歴史文化資源 | |



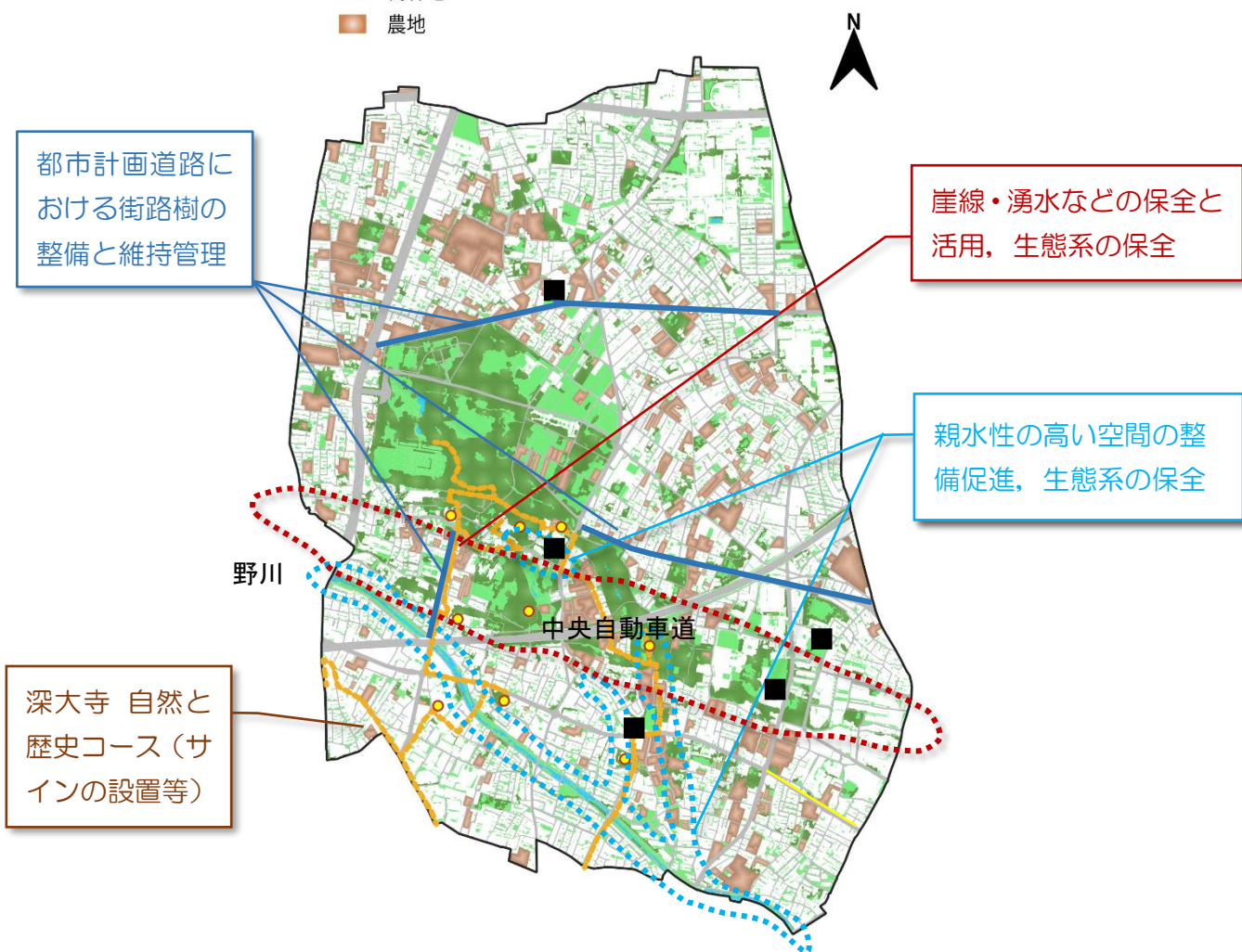
< 施策 >

施策名	概要	全体計画との対応
国分寺崖線の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 主要な緑である国分寺崖線は湧水とともに、武蔵野の原風景を伝え、多様な生物の棲み処となる貴重な自然として保全します。 	3-(2) 崖線・樹林地・湧水などの保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
深大寺や周辺の神社等と調和した緑の形成	<ul style="list-style-type: none"> 深大寺や周辺の神社等，歴史・文化的資源と一体となった緑の保全と活用を推進します。 	3-(3) 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
野川や周辺用水路を活かした水のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> 野川や周辺用水路については，市民と協働で良質な河川環境の保全と活用を図りながら，生態系ネットワークの形成を推進します。また，深大寺・佐須地域の野川にそそぐ用水路沿いの空間を活かし，散策路の環境を整備します。 	3-(4) 川辺の保全と活用 5-(1) 水と緑のネットワーク形成 5-(2) 生態系の保全と再生
農の風景育成地区や農の里を中心とした都市農地の保全と振興	<ul style="list-style-type: none"> 市にとって象徴的で重要な緑を多く有する、深大寺北部地区や深大寺・佐須地域では，都市景観と一体となった都市農地を保全し，農地の多面的機能を活かしながら農の里を実現します。 深大寺・佐須地域農の風景育成地区内は里山の風景を守り，農の風景の育成を図ります。 	3-(5) 都市農地の保全と多面的な活用
地域の景観を向上させる緑のネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵境通りにおいては街路樹・植栽の維持管理を適切に行い，今後整備する都市計画道路においては整備を推進します。 小中学校等においては緑のカーテンの取組を推進します。 ふれあいの小径については緑化を推進し，歩きたくなる空間創出を推進します。 	4-(1) 公共施設の緑化の推進 5-(1) 水と緑のネットワーク形成

< 施策位置図 >

- 都市農地の保全と多面的な活用
- 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
- 公立小中学校における緑のカーテンの取組推進

- 凡例
- 公園・緑地等
 - 樹林地
 - 農地



- 【全域で取組む施策】**
- 1-(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進
 - 1-(2) 市民参加による公園整備・管理の推進
 - 2-(1) 公園・緑地等の計画的な管理
 - 2-(2) 防災性を高める身近な緑の保全
 - 2-(3) 公園・緑地の利用の適正化
 - 3-(1) 民有地の緑化推進
 - 4-(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成
 - 4-(3) 身近な樹木・植栽の保全
 - 5-(3) 緑資源を活かした循環型社会の形成
 - 6-(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進
 - 6-(2) 水と緑をそだてる意識づくり